

## 高津区おはなしアーカイブ

●村本 喜久夫 (むらもと きくお) さん

昭和16年生まれ 76歳

川崎市高津区久本在住



### ◆世田谷生まれ、高津区育ち

生まれは世田谷区の上野毛です。父が建築の現場の仕事をしていましたからその近くに住んでいて、そこで生まれたのです。久本に引っ越してきてすぐ、昭和20年に長野に疎開しました。両親が共に長野出身で昔の埴科郡、今の千曲市出身だったんです。3歳か4歳の時だったと思いますね。疎開した時は駅から4キロぐらい歩いて、途中から父のリュックサックに入れてもらった記憶もあります。

私は長男で、姉は生まれてすぐに亡くなり、すぐ下の弟も昭和20年に亡くなりま

した。もう一人、5つ下の弟がいますが、戦後生まれです。父は上京して大工の仕事をしていました。池袋の小林組に入ってね。戦争が終わって長野から久本に戻ってきました。その頃には父が、現在の洗足学園の所に宿舎があり、仕事をしていましたから、やはり作業所の近くに住んだわけです。そこから宗隆寺にある高津幼稚園に通いました。

小学校は高津小学校です。当時は、橘小学校か高津小学校しかなかったですからね。その後、小学校3年か4年の時に東高津小学校ができました。人数が多かったし、1クラス60人で12クラスくらいありました。授業は早番・遅番の二部制でね。久本小学校ができたのはもっと後です。

高津小学校には近所の友達と誘い合って一緒に歩いて通いました。雨が降ると、今は置き傘があるけれど、その頃は親が持ってきてくれてね。嬉しかったね。

担任は1～3年までは棚倉先生、5～6年は北見方の田辺先生でした。3年か4年になると給食が始まりました。

その頃の遊びは、チャンバラやコマまわし、楽しかったのはドッチボールです。神社や久本山が遊び場だったね。末長の方には池があって魚釣りもしました。今のKSPの場所にあった池貝鉄工のところにも池があったし、末長の方には「ターザンの木」があって、ターザンごっこをしました。

あと、父が仕事場から持って帰ってきた木材を割って薪を作った記憶もあるなあ。

久本は溝口の駅に近いから、子どもの頃に縄で道の距離を測ったことがあってね。陸上の好きな先輩がいた影響ですよ。

両親と一緒に時は向ヶ丘遊園に遊びに行きました。二子玉川や多摩川園の遊園地にもね。小さい頃は近所に野球が好きな人がいて、後樂園に野球を観に連れていってくれました。巨人戦だったね。硬球で野球をしているのを初めて見ました。

#### ◆田んぼと工場のまち

その頃の久本といえば田んぼと工場だね。今のパークシティ、昔の東芝の多摩川工場の前に麻糸紡績の工場がありました。東京衡機という試験機の世界会社もあつたね。当時の高津中学校は今の中央支援学校のところにあつて、校舎とグラウンドが離れていて、校舎の前の細い道を通って、グラウンドまで行ったのですよ。グラウンドが今の高津中学校の場所にありました。高津中学校は昭和35～36年くらいまで、そこにありましたね。すぐ近くには日本鋼管の社宅もありました。

今の高津高校の辺りは田んぼや畑だったから、中学の時に野球をしていたら、球が飛んでいってしまつて拾いに行きましたよ。高津中学校のグラウンドの隣だったからね。当時は、南武線を境にして田んぼや畑のエリアと住宅のエリアがだいたい分かれてい

たんです。あと、当時の高津高校は女子高で山の上にあつてね。今の養老院のところだね。

今の薬医門公園のところは岡先生っていうお医者様が住んでいてね。医院だったの。話によると、そこから往診に行くのに馬で行ったことから、近くにある坂が「馬坂(まさか)」という名前になったって言われているよ。反対側は「うさぎ坂」って言つてね。「うさぎ坂」の由来はわからないけどね。

#### ◆中学入学以降とまちの変化

高津中学校は小学校よりも近くて、踏切を渡つて通いました。家から直線にして400メートルだから近かつたね。



久本小学校ができることになった時は、久本の一期生、二期生とは同じ校舎で勉強しました。その頃、宿河原に多摩高ができることになって、多摩高も最初は高津中学校の校舎で勉強していました。高津中学校

は1クラス50人前後で8クラスあって、久本小や多摩高の人も一緒だったから大きかったね。

中学時代は部活でバレーボールをやっていました。体育館はバスケットボール部が使うから、バレー部は外でね。でも校庭は野球部が広く使うからね。そんな中でも県大会までは行きました。今は男子バレー部もなくなってしまったようで寂しいね。

久本小学校ができたり、大山街道を境に下作延小学校ができたりして、ますます街が変わりました。昔の大山街道は荷車が行き来して、でこぼこ道だったのを覚えているけれど、道路が整備されたのはマンションが建ち始めた昭和40年代からだね。



高校卒業後は近くにあった東京衡機に2年勤めて、その後は父のいたゼネコン関係の会社に転職しました。現場によっては八

丈島とか、いろいろなところに長期で行きましたよ。渋谷、銀座、池袋、板橋の現場も経験しました。

洗足学園の隣に多摩美術大学という学校があって、その近くにも工場がたくさんありました。徳和紡績とか、ニクギ電機、旭電機、三菱化成、地質研究所、日本電気もありましたね。

工場だけでなく今の洗足学園幼稚園のところには、池貝鉄工の社宅、日本光学の社宅もあったね。

あと、今は「横穴墓群跡」って言われている場所に防空壕があって、今は入れないけれど、夏は涼しいから、昔はそこで昼寝したり、将棋したりして遊んだね。

溝口の方から流れて来る水路もあって、今は蓋をしているけれど、昔は泳げたんだよ。

あと、南武線の上に歩道橋ができる前は事故が多くてね。電車で跳ねられる子どもが多かったね。

こんな風に、昔の久本のことを知っている人も少なくなりましたよ。

#### ◆鳩と修学旅行の思い出

そういえば中学生の時、鳩を飼っていたことがあってね。あの頃は空前の「鳩ブーム」で犬や猫より人気があったよ。

「餌代がかかる」って父に怒られて、仕方なく中学校の修学旅行の時に鳩を手放すことにしたんだ。浜松の駅のホームからね。

そうしたら鳩が久本の家に戻ってきてしま  
って。父はまた餌代をくれたね。

修学旅行で関西に行くから、鳩を飼って  
いた川崎の中学生はみんな、鳩を段ボール  
箱に入れて持って行き、停車時間の一番長  
い浜松の駅から鳩を飛ばすのですよ。とこ  
ろが、まだ我々が京都あたりにいる頃に、  
家に鳩が帰ってきたというからびっくりし  
たよ！

うちのは「ハイゴマ」と「モザイク」と  
いう鳩でね。今のマルイのところにあった  
鳥屋さんで、一羽500円くらいで買った  
かな。近所もみんな飼っていたよ。小屋を  
作って、とうもろこしを与えて。父は大工  
だったから小屋もお手のものでね。

どこの家でどんな鳩を飼っていたかも、  
みんな知っていたよ。

そうそう、あと、修学旅行の帰りは夜行  
列車で帰ったんだと思うんだけど、先生が  
網棚で寝てたのが記憶に残ってるね（笑）



## ◆祭りのことなど

祭りといえば久本神社だね。神輿や演芸  
大会があったし、子供の遊びに相撲もあっ  
て、五人抜きすると一升瓶の醤油がもらえ  
ました。演芸大会は芸人を呼ぶのではなく  
て、素人だけど町会の人とするんだ。うち  
の孫は太鼓を習っているから、お祭りで叩  
いていますよ。

節分祭もやっていたけど、今はやってな  
いね。昭和29年から55年までやってた  
かな。あれは良い行事だったけどね。

会社を退職した平成13年から町会の役  
を引き受けて、事務や神社の行事を司る儀  
典部のことをしたり、電柱の広告撤去もし  
ています。防犯パトロール、美化推進委員  
もね。

私が会社勤めをしていた頃はボウリング  
の全盛期で、仕事の帰りに会社近くのボウ  
リング場に皆で行ったね。女子プロボウラ  
ーの中山律子さんの時代だったよ（笑）

（平成30年2月7日取材）